

機器接続マニュアル



機器接続マニュアルに関する注意事項

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

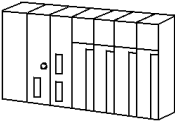
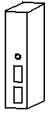


2.4 (株)安川電機製 PLC

2.4.1 システム構成

(株)安川電機製 PLC と GP を接続する場合のシステム構成を示します。

< 結線図 > は 2.4.2 結線図をご参照ください。

Memocon-SC シリーズ (リンク I/F 使用)

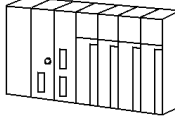

CPU	リンク I/F	結線図	使用可能ケーブル	GP
	通信 モジュール 			
U84, 84J	JAMSC-C8110	RS-232C < 結線図1 >	(株)安川電機製 メモバスケーブル JZMSZ-W1015-21 *1	GPシリーズ
U84S	JAMSC-C8610			
GL40S	JAMSC-IF61 JAMSC-IF41A			
GL60H, GL70H	JAMSC-IF60 JAMSC-IF61			
GL60S	JAMSC-IF60 JAMSC-IF61			
	JAMSC-IF612	RS-422 < 結線図2 >		

*1 GP-270/GP-370/GP-377/GP-377R シリーズには、コネクタケースのサイズ上使用できません。

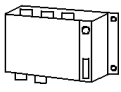

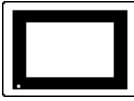


- 通信モジュールを複数使用して、同時に最大 GP4 台と接続ができます。

Memocon-SC シリーズ (CPU 直結)

CPU	結線図	使用可能ケーブル	GP
			
GL120	RS-232C < 結線図3 >	(株)安川電機製 JZMSZ-120W0200-03	GPシリーズ

Control Pack シリーズ (CPU 直結)

CPU *1	結線図	使用可能ケーブル	GP
			
CP-9200, CP-9200H	RS-232C < 結線図1 >	(株)安川電機製 メモバスケーブル JZMSZ-W1015-21 *2	GPシリーズ

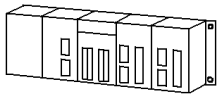


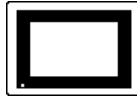


・ CP-9200、CP-9200Hは同時に2台と接続ができます。2台のGPを同時に使用する場合は、GPのシステムエリアが重ならないように設定してください。

*1 CP-9200、CP-9200Hのマシンコントローラ 4CN、6CN に接続します。

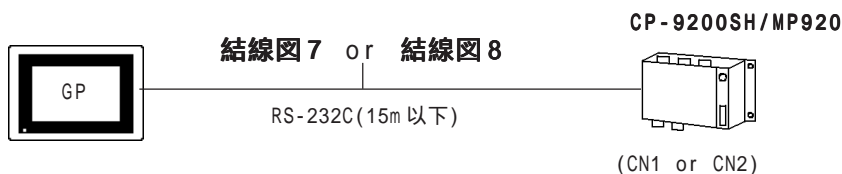
*2 GP-270/GP-370/GP-377/GP-377R シリーズには、コネクタケースのサイズ上使用できません。

Control Pack シリーズ (リンク I/F 使用)

CPU	リンク I/F	結線図	GP
			
CP-9200SH *3	JACP-317217 (CN1)	結線図7 (RS-232C)	GPシリーズ
	JACP-317217 (CN2)	結線図8 (RS-232C)	
	JACP-317217 (CN3)	結線図9 (RS-422)	

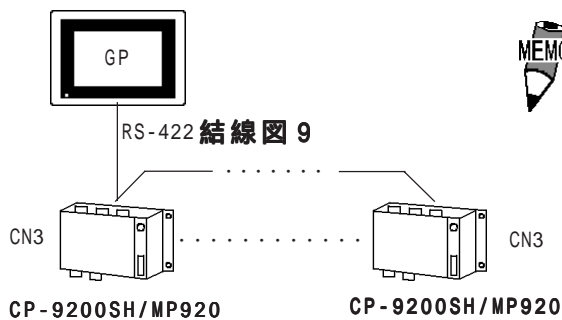
*3 1:1 接続の場合

以下の示す図は1:1接続です。(CNとは回線番号を意味します。)



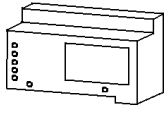

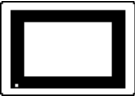
・ CN1、CN2、CN3の同時接続ができます。ただし、1つのCNにGPの複数台接続(マルチリンク)はできません。

1:n 接続の場合



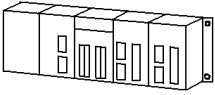


・ システムの中で使用するGPは、必ず1台にしてください。
 ・ リンク上にはGP1台に対し、CPU最大32台接続できます。
 ・ CPU設定はGPの仕様上により32号機までの設定となり、32号機以上の設定は使用できません。

Memocon Micro (CPU直結)

CPU	結線図	GP
		
Micro ^{*1}	RS-232C < 結線図5 >	GPシリーズ

*1 comm1ポートに接続します。

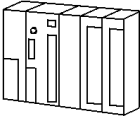



PROGIC-8シリーズ (CPU上のリンク I/F 使用)

CPU	結線図	使用可能ケーブル	GP
			
PROGIC-8 ^{*2}	RS-232C < 結線図4 >	(株)安川電機製 JEPMC-W5310-03 ^{*3}	GPシリーズ

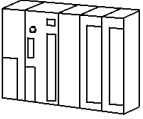


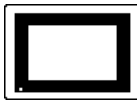
*2 PLCユニット上の PORT1(9P)または PORT2(15P)に接続します。

*3 PORT1 接続時のみ使用できます。PORT2は15P仕様のため、使用できません。

Memocon-SCシリーズ (GL120/GL130)(リンク I/F 使用)

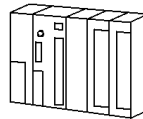
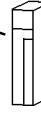


CPU	リンク I/F	結線図	GP
	計算機 リンクユニット 		
GL120 GL130	JAMSC-120MON27100	RS-422 < 結線図6 >	GPシリーズ

MP900 シリーズ (リンク I/F 使用)

CPU	リンク I/F	結線図	GP
	計算機 リンクユニット 		
MP930	CPUユニット上の MEMOBUSポート (PORT1, PORT2)	RS-232C <結線図7>	GPシリーズ
MP920	CPUユニット上の MEMOBUSポート (PORT1, PORT2)	RS-232C <結線図7>	
	JEPMC-CM200 *4 (CN1, CN2)	RS-422 <結線図9>	
JEPMC-CM200 *4 (CN3)			

*4 接続方法の詳細説明はCP-9200SH(二頁前)を参照してください。

MP2300 シリーズ (リンク I/F 使用)

CPU	リンク I/F	結線図	GP
	計算機 リンクユニット 		
MP2300	汎用シリアル 通信モジュール 217IF-01	RS-232C <結線図10>	GPシリーズ
		RS-422 1:1通信 <結線図11>	
	RS-422 1:n通信 <結線図12>		
	Ethernet 通信モジュール 218IF-01上の シリアルコネクタ	RS-232C <結線図10>	

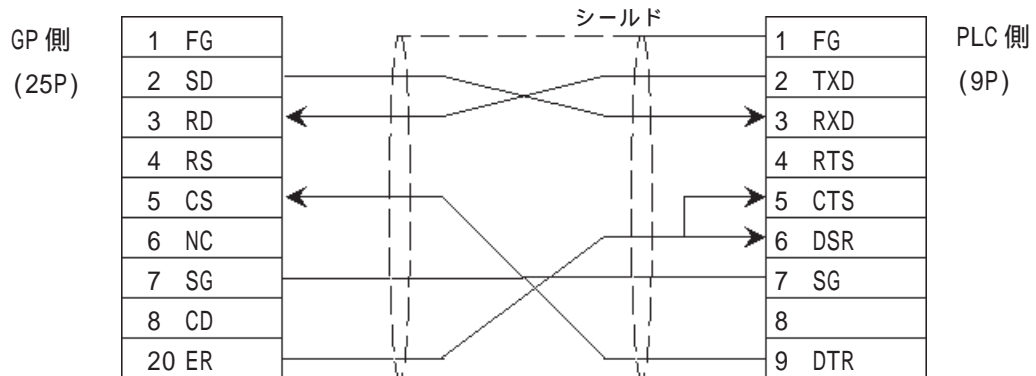
2.4.2 結線図

以下に示す結線図と(株)安川電機の推奨する結線図が異なる場合がありますが、以下に示す結線図でも動作上問題はありません。

強制 ・ PLC本体のFG端子はD種接地を行ってください。
詳細はPLCのマニュアルをご参照ください。

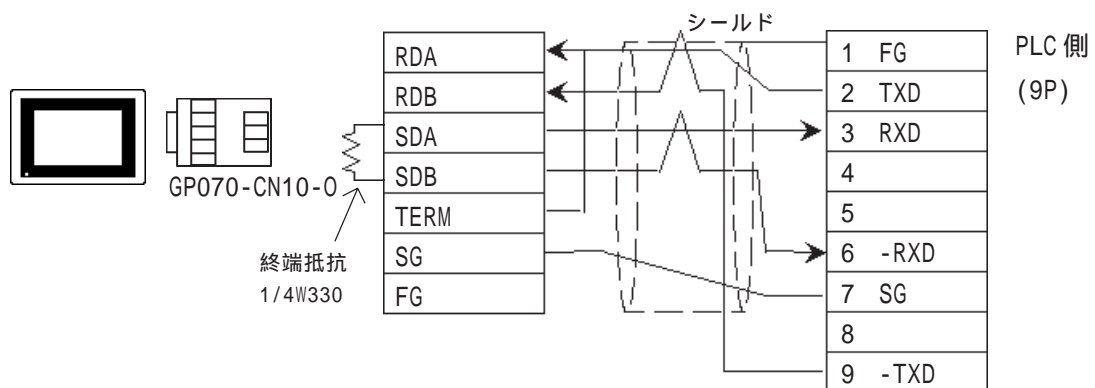
- 重要** ・ シールド線へのFGの接続は、設置環境によってPLC側、GP側のどちらかを選択してください。(結線例はPLC側に接続した場合の図です。)
- ・ RS-232C接続の場合は、ケーブル長は15m以内にしてください。
 - ・ RS-422接続の場合は、ケーブル長は300m以内にしてください。
 - ・ 通信ケーブルを結線する場合は、必ずSGを接続してください。

< 結線図1 > RS-232C

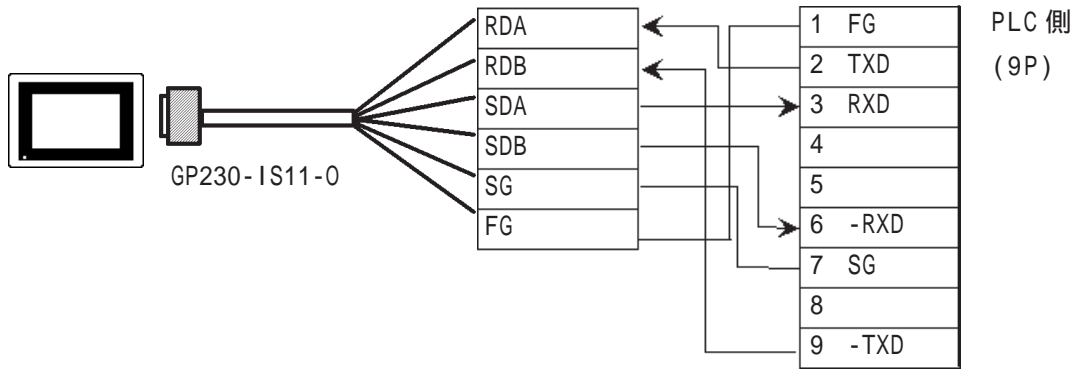


< 結線図2 > RS-422

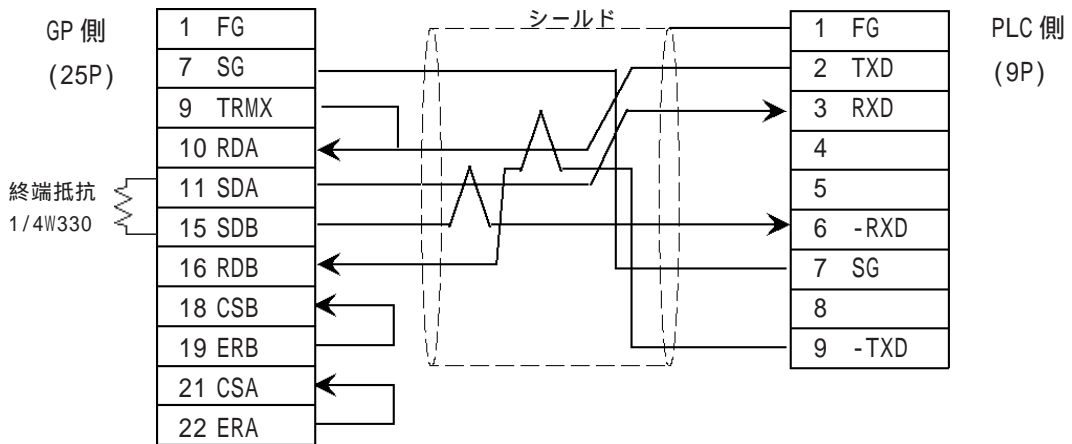
- ・ (株)デジタル製RS-422コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0を使用する場合



- ・ (株)デジタル製RS-422ケーブルGP230-IS11-0を使用する場合

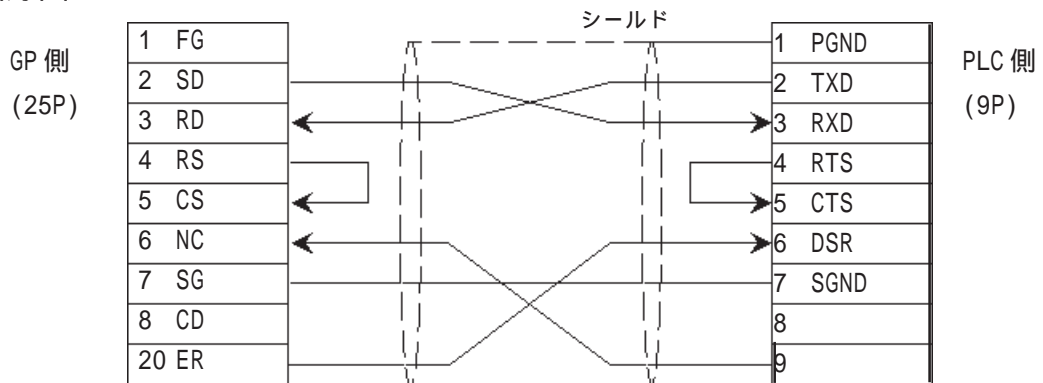


- ・ ケーブルを加工する場合

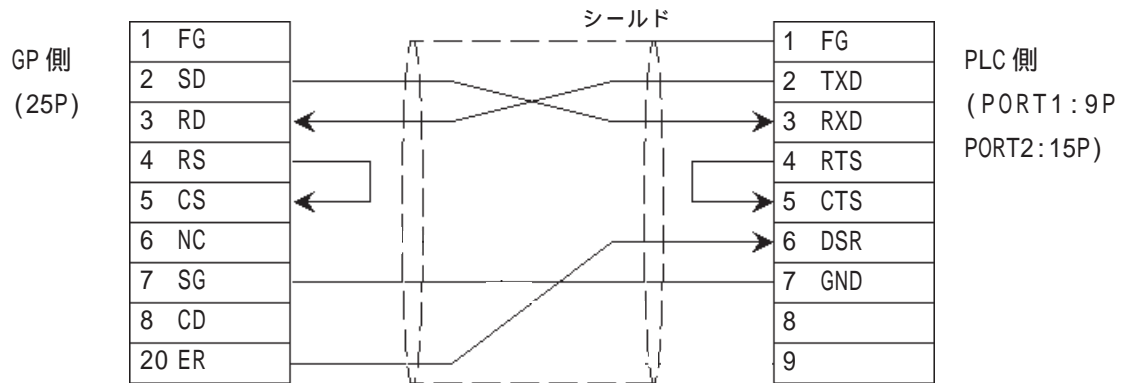


- ・ GP側シリアルI/Fの9番ピンと10番ピンを接続することにより、RDA-RDB間に100Ωの終端抵抗が挿入されます。

< 結線図 3 > RS-232C



< 結線図 4 > RS-232C

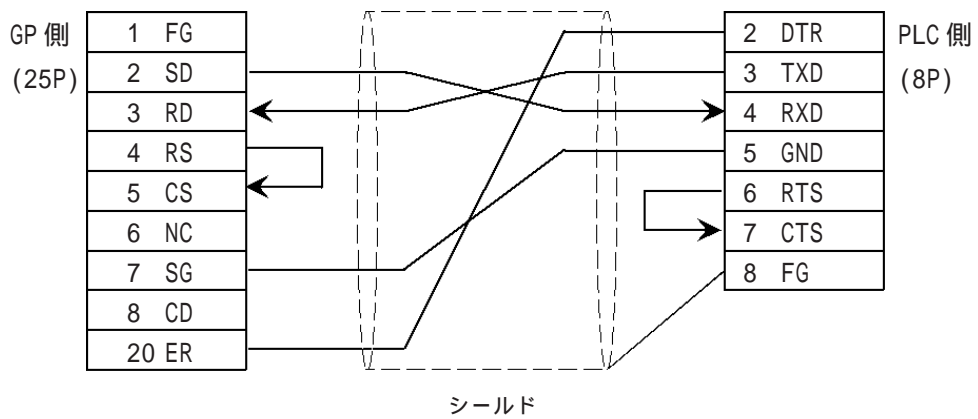
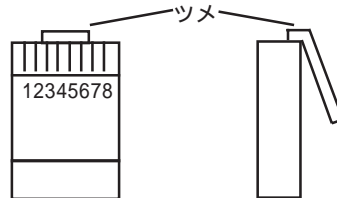


< 結線図 5 > RS-232C



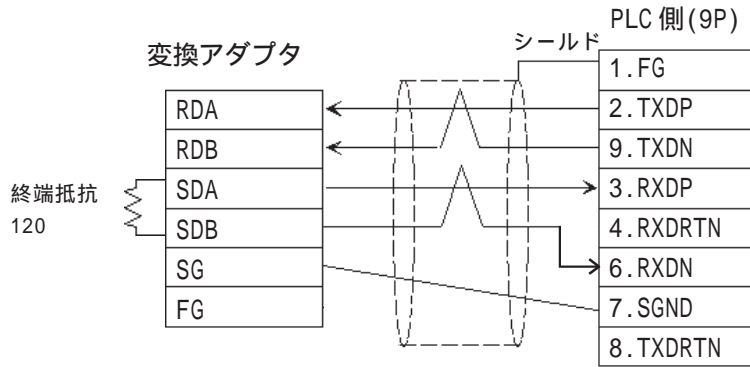
・ PLC 側はRJ45 ジャックです。

コネクタピン番号

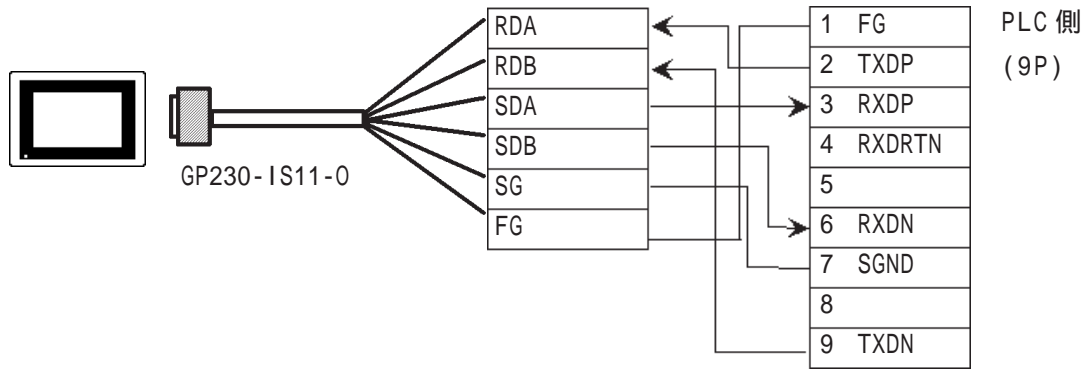


< 結線図 6 > RS-422

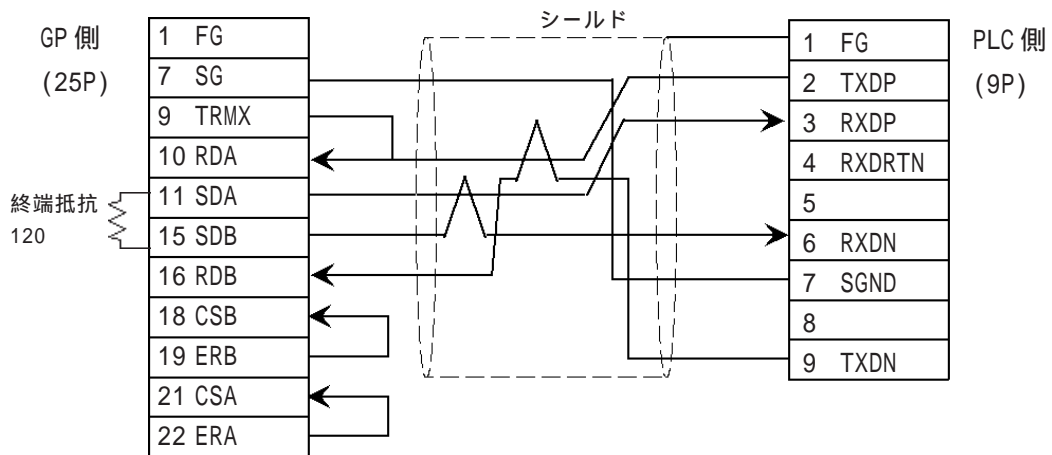
- ・ (株)デジタル製RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0を使用する場合



- ・ (株)デジタル製RS-422 ケーブル GP230-IS11-0を使用する場合

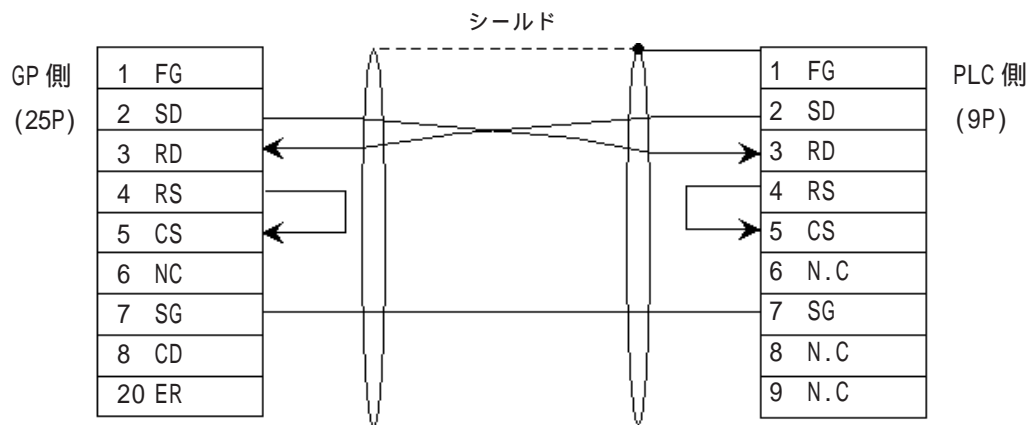


- ・ ケーブルを加工する場合

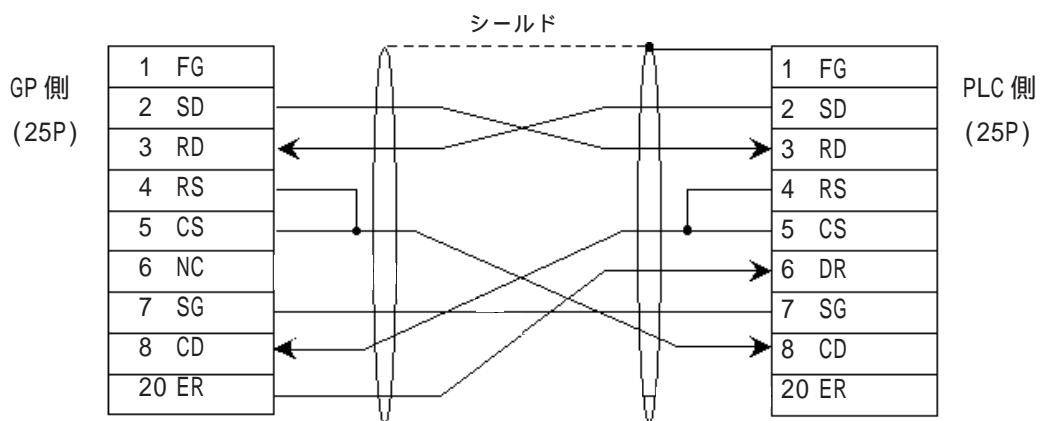


- ・ GP側シリアルI/Fの9番ピンと10番ピンを接続することにより、RDA-RDB間に100 の終端抵抗が挿入されます。

< 結線図 7 > RS-232C

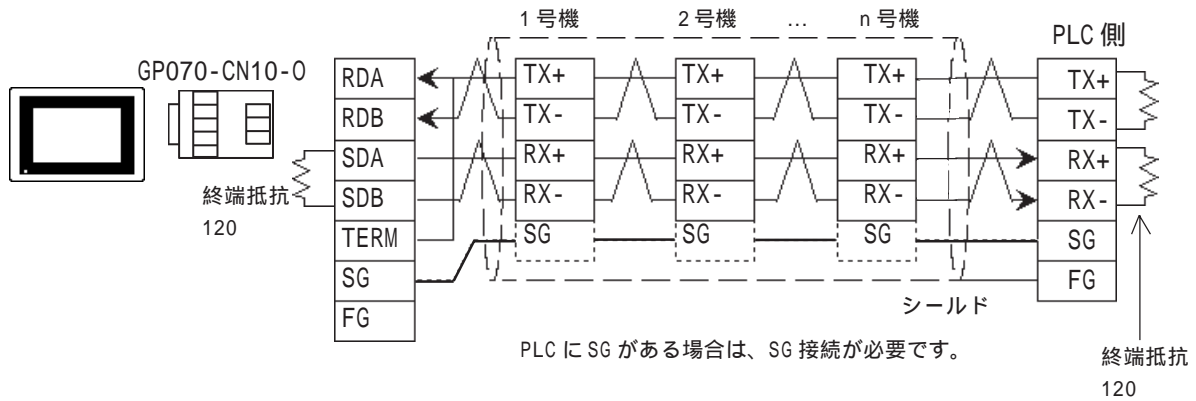


< 結線図 8 > RS-232C

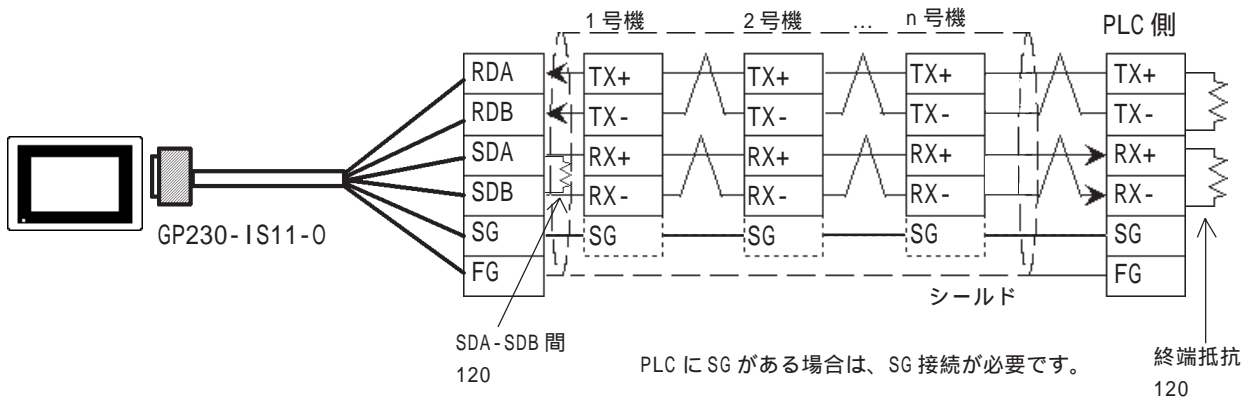


< 結線図 9 > RS-422

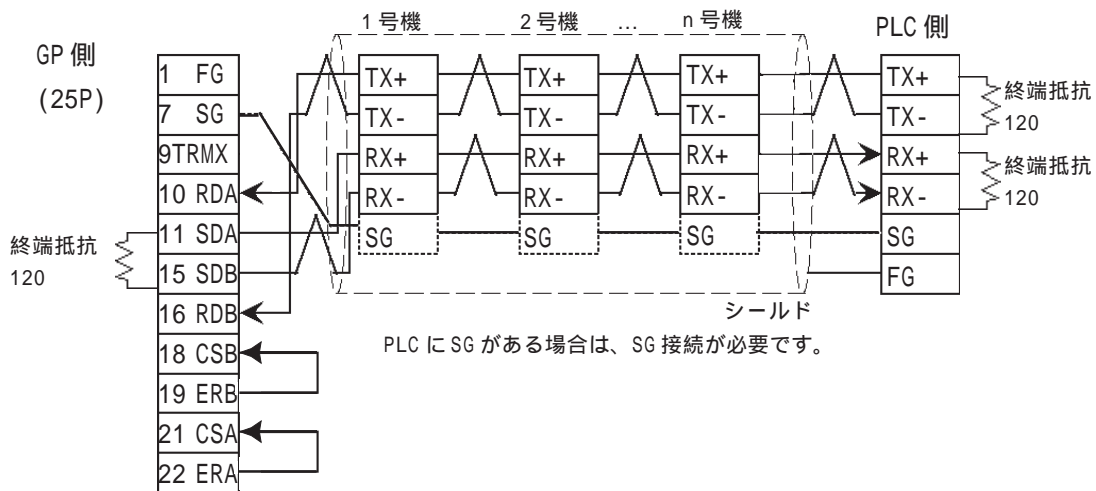
- ・ (株)デジタル製RS-422コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0を使用する場合



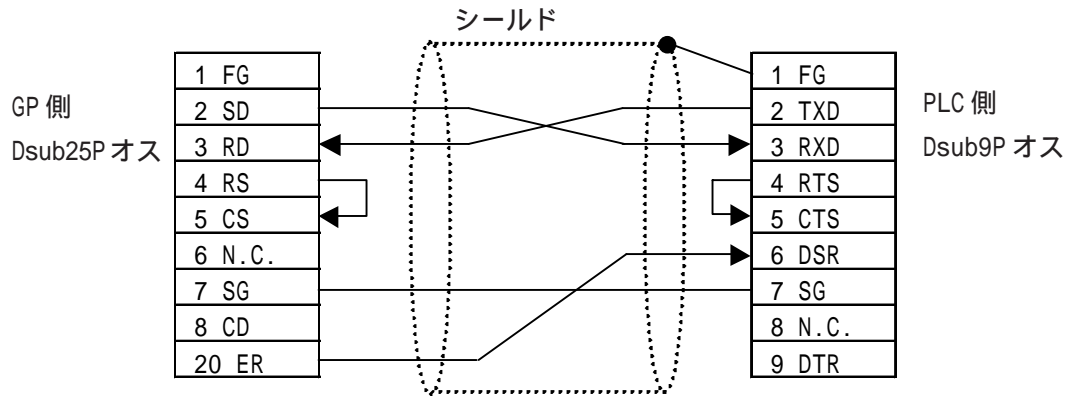
- ・ (株)デジタル製RS-422ケーブル GP230-IS11-0を使用する場合



- ・ ケーブルを加工する場合

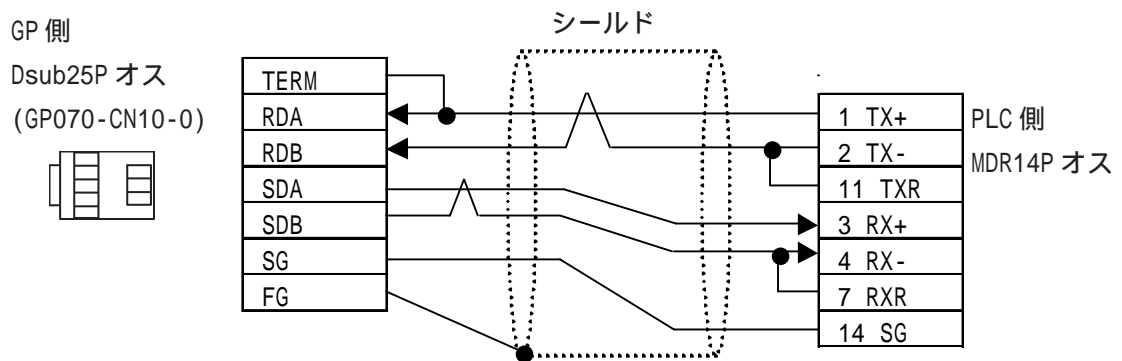


< 結線図 10 > RS-232C

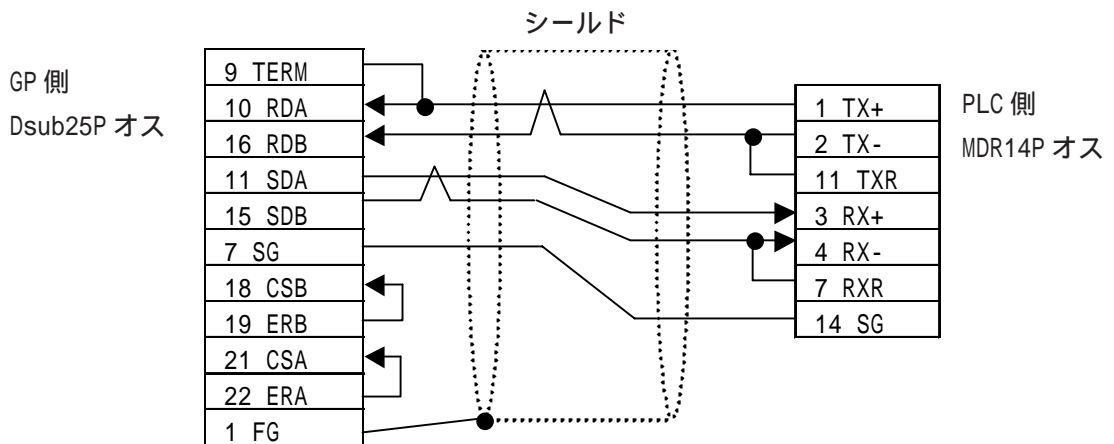


< 結線図 11 > RS-422

- ・ (株)デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ (GP070-CN10-0) を使用する場合



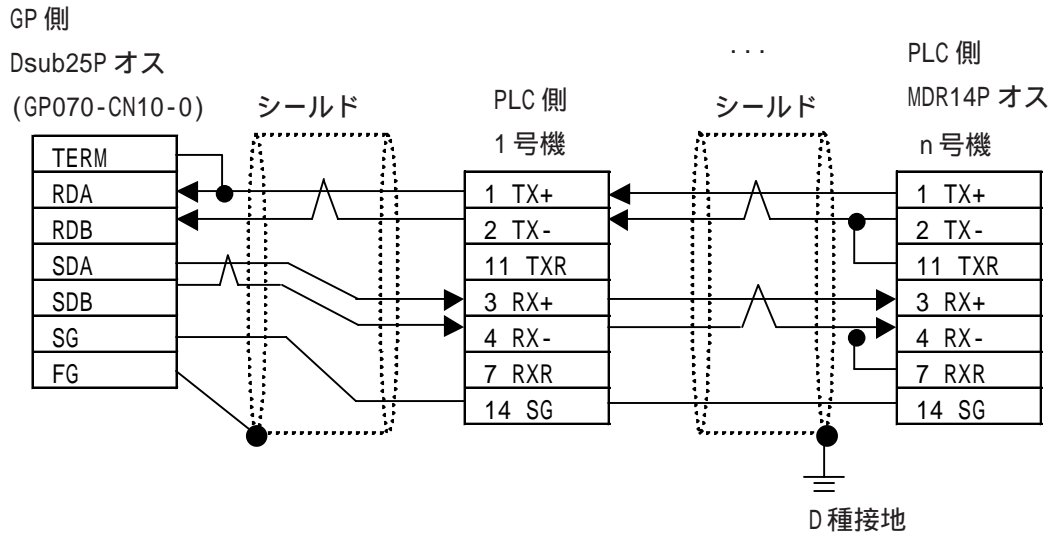
- ・ ケーブルを加工する場合



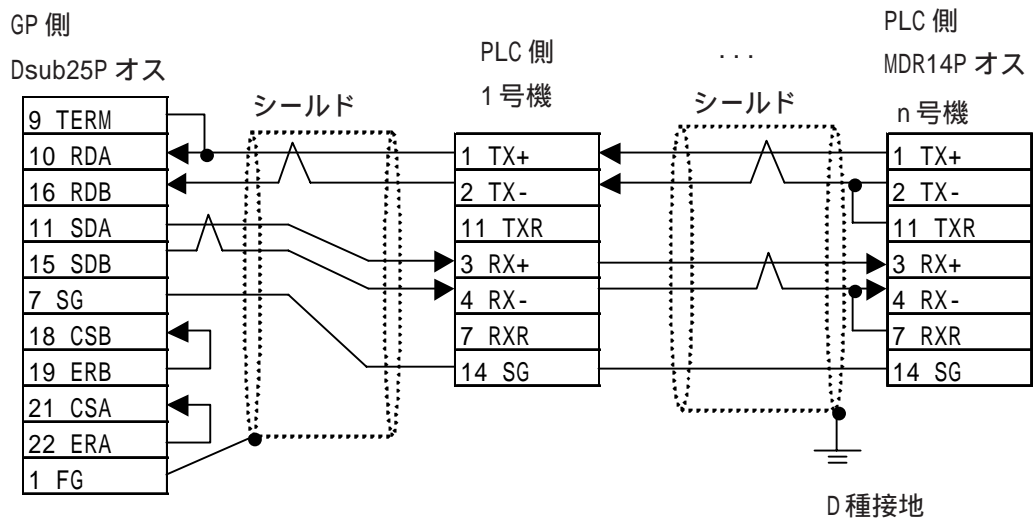
- ・ PLC 側の TX- と TXR、RX- と RXR を接続することにより終端抵抗 120Ω が入ります。

< 結線図 12 > RS-422

- ・ (株)デジタル製RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ (GP070-CN10-0)を使用する場合




- ・ ケーブルを加工する場合






2.4.3 使用可能デバイス


GPでサポートしているデバイスの範囲を示します。







Memocon-SC シリーズ (U84/84J/U84S/GL40S/GL60H/GL70H/GL60S)

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
コイル (出力 / 内部)	00001 ~ 08192	—————	*1 H/L
入力リレー	10001 ~ 14096	—————	*1*2
リンクコイル	D0001 ~ D1024	—————	*1
入力レジスタ	—————	30001 ~ 30512	 *2
出力 / 保持レジスタ	—————	40001 ~ 49999	
リンクレジスタ	—————	R0001 ~ R1024	
定数レジスタ	—————	31001 ~ 35096	
拡張レジスタ	—————	A0000 ~ A7FFF	

Memocon-SC シリーズ (GL120/GL130)

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
コイル (出力 / 内部)	000001 ~ 008192	—————	*1 H/L
入力リレー	100001 ~ 101024	—————	*1*2
リンクコイル1	D10001 ~ D11024	—————	*1
リンクコイル2	D20001 ~ D21024	—————	*1*2
MCリレー-1	X10001 ~ X10256	—————	*1*2
MCリレー-2	X20001 ~ X20256	—————	*1*2
MCコイル1	Y10001 ~ Y10256	—————	*1
MCコイル2	Y20001 ~ Y20256	—————	*1*2
MCコードリレー-1	M10001 ~ M10096	—————	*1*2
MCコードリレー-2	M20001 ~ M20096	—————	*1*2
MC制御リレー-1	P10001 ~ P10256	—————	*1*2
MC制御リレー-2	P20001 ~ P20256	—————	*1*2
MC制御コイル1	Q10001 ~ Q10256	—————	*1
MC制御コイル2	Q20001 ~ Q20256	—————	*2
入力レジスタ	—————	300001 ~ 300512	 *2
出力レジスタ	—————	300001 ~ 300512	
保持レジスタ	—————	400001 ~ 409999	
リンクレジスタ1	—————	R10001 ~ R11024	
リンクレジスタ2	—————	R20001 ~ R21024	
定数レジスタ	—————	700001 ~ 704096	

*1 ワード (16ビットデータ) 指定することもできます。

*2 データの書き込みはできません。

Control Pack シリーズ

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	アドレスに対応する GP-9200, CP-9200Hの レジスタ番号	備考
入力レジスタ	00001 ~ 02048	IB00000 ~ IB007FF	*1
出力レジスタ	02049 ~ 04096	OB00000 ~ OB007FF	*1
システムレジスタ	10001 ~ 12048	SB000000 ~ SB00127F (CPU#0のSレジスタ)	*1

デバイス	ワードアドレス	アドレスに対応する GP-9200, CP-9200Hの レジスタ番号	備考
入力レジスタ	49744 ~ 49871	IB00000 ~ IB007FF	 L/H
出力レジスタ	49872 ~ 49999	OB00000 ~ OB007FF	
システムレジスタ	30001 ~ 30256	SW00000 ~ SW00255 (CPU#0のSレジスタ)	
データレジスタ	31001 ~ 33048 (CP-9200Hのみ)	DW00000 ~ DW02047 (CPU#1のDレジスタ)	
	40001 ~ 42048	DW00000 ~ DW02047 (CPU#0のDレジスタ)	
共通レジスタ	42049 ~ 49743	MW00000 ~ MW07694	

*1 ワード(16ビットデータ)指定することもできます。

- 強制**
- Control Packシリーズで使用する場合は、上記のアドレス対応表で変換しアドレス入力を行ってください。
 - CP-9200でCPU#1のデータレジスタ、およびシステムレジスタを使用したい場合は、共通レジスタ(MW00000 ~ MW07694)にコピーして使用してください。

Memocon Micro

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
コイル(出力/内部)	00001 ~ 01531	—————	*1
入力リレー	10001 ~ 10511	—————	*1
入力レジスタ	—————	30001 ~ 30047	 H/L
出力/保持レジスタ	—————	40001 ~ 41871	

PROGIC-8 シリーズ

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	備考
出力コイル	01 ~ 0512	—————	*1
入力リレー	11 ~ 1512	—————	*1*2
内部コイル	N1 ~ N1536	—————	*1
リンクコイル	D1 ~ D1024	—————	*1
データレジスタ	—————	W1 ~ W2048	 *3
データレジスタ (1ワードデータ用)	—————	SW1 ~ SW2048	 *3
データレジスタ (2ワードデータ用)	—————	DW1 ~ DW2048	 *3
入力レジスタ	—————	Z1 ~ Z128	*2
リンクレジスタ	—————	R1 ~ R1024	
リンク (1ワードデータ用)	—————	SR1 ~ SR2048	*3
リンク (2ワードデータ用)	—————	DR1 ~ DR2048	*3

*1 ワード(16ビットデータ)指定することもできます。

*2 データの書き込みはできません。

*3 データ型式対応レジスタ。このレジスタは、PLC内部データに対応した架空のレジスタです。このレジスタは、データレジスタ(W)、リンクレジスタ(R)を使用していますが、1ワードで扱えるデータの範囲は、-9999 ~ 9999 です。

1ワードデータ対応レジスタデータレジスタ(SW)、リンクレジスタ(SR)を使用する場合の注意点 SW、SRを使用する場合は、必ず -9999 ~ 9999 の値を使用してください。
又、データを表示する場合は、4桁表示(10進数)で設定してください。

2ワードデータ対応レジスタを使用する場合の注意点
データレジスタ(DW)、リンクレジスタ(DR)について

DW、DRを使用する場合は、必ず -99999999 ~ 99999999 の値を使用してください。
又、データを表示する場合は、8桁表示(10進数)で設定してください。

SW, SR と W, R の表示値の違い
















PLC内部データ	SW, SR	W, R
9999	9999	9999
1001	1001	1001
1000	1000	1000
999	999	999
0	0	0
-1	-1	32769
-999	-999	33767
-1000	-1000	33768
-1001	-1001	33769
-9999	-9999	42767

DW, DR と W, R (2ワード) の表示値の違い

PLC内部データ	DW, DR	W, R
99999999	99999999	655304463
10000001	10000001	65536001
10000000	10000000	65536000
99999999	99999999	65535999
10000	10000	65536
9999	9999	9999
0	0	0
-1	-1	2147483649
-9999	-9999	2147493647
-10000	-10000	2147549184
-10001	-10001	2147549185
-99999999	-99999999	2212955111

CP-9200SH/MP900/MP2300 シリーズ

 は、システムエリアに指定可能

デバイス	GP上での表示	対応する デバイス	デバイス数	備考
コイル(ビットデバイス)	GMB00000 ~ GMB0624E	MB000000 + オフセット ~ MB00624E + オフセット	9999点	
コイル(ワードデバイス)	GMB00000 ~ GMB0624	MB000000 + オフセット ~ MB00624 + オフセット	625点	*2
入力リレー(ビットデバイス)	GIB00000 ~ GIB0270E	IB000000 + オフセット ~ IB0270E + オフセット	9999点	*1
入力リレー(ワードデバイス)	GIB00000 ~ GIB0270	IB00000 + オフセット ~ IB0270 + オフセット	625点	*1 *2
保持レジスタ(ワードデバイス)	GMW0000 ~ GMW1023	MW00000 + オフセット ~ MW01023 + オフセット	1024点	
	GMW1024 ~ GMW2047	MW01024 + オフセット ~ MW02047 + オフセット	1024点	
	GMW2048 ~ GMW3071	MW02048 + オフセット ~ MW03071 + オフセット	1024点	
	GMW3072 ~ GMW4095	MW03072 + オフセット ~ MW04095 + オフセット	1024点	
	GMW4096 ~ GMW5119	MW04096 + オフセット ~ MW05119 + オフセット	1024点	
	GMW5120 ~ GMW6143	MW05120 + オフセット ~ MW06143 + オフセット	1024点	
	GMW6144 ~ GMW7167	MW06144 + オフセット ~ MW07167 + オフセット	1024点	
	GMW7168 ~ GMW8191	MW07168 + オフセット ~ MW08191 + オフセット	1024点	
	GMW8192 ~ GMW9215	MW08192 + オフセット ~ MW09215 + オフセット	1024点	
	GMW9216 ~ GMW9998	MW09216 + オフセット ~ W09998 + オフセット	783点	
入力レジスタ(ワードデバイス)	GIW0000 ~ ~ GIW03FF	IW0000 + オフセット ~ ~ IW03FF + オフセット	1024点	 *1
	GIW0400 ~ GIW07FF	IW0400 + オフセット ~ IW07FF + オフセット	1024点	 *1
	GIW0800 ~ GIW08FF	IW0800 + オフセット ~ IW08FF + オフセット	1024点	 *1
	GIW0C00 ~ GIW0FFF	IW0C00 + オフセット ~ IW0FFF + オフセット	1024点	 *1
	GIW1000 ~ GIW13FF	IW1000 + オフセット ~ IW13FF + オフセット	1024点、注) デ バイス範囲の記 述で、0000のよ うに表記してあ る箇所は16進	 *1

L/H

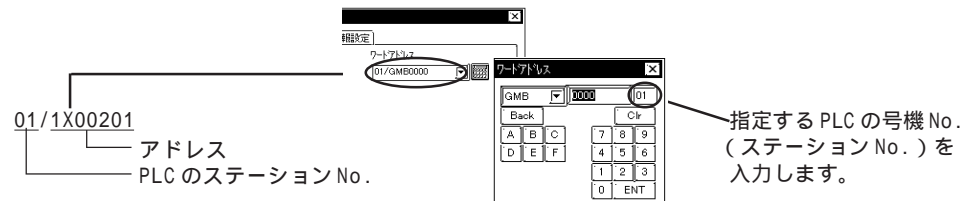
*1 GPからの読み出しは可能ですが、書き込みはできません。

*2 最後(GMB0624/GIB0270)の16ビット目の書き込みはできません。

- 重要**
- LSエリアのビット指定は、ワードアドレスの後にビット位置を0～Fで指定します。
 - CP-9200SHのプロトコルは1:n接続対応です。よって、従来のMEMCON-SCプロトコルとデバイスの内部表記方法が異なり、互換性がありません。従来のMEMCON-SCから画面を変更する場合は、デバイスの再入力が必要です。
 - 保持レジスタおよび入力レジスタのデバイスの設定は、各ブロック内におさまるようにタグ設定してください。
ブロックをまたぐような設定はできません。
例)GMW1010から20ワード分の設定はできません。



- GP-PRO/PB で部品やタグの設定を行う場合、アドレス入力時にPLCのステーションNo.の指定ができます。ステーションNo.を指定しなかった場合は、ひとつ前に入力された番号を継続します。(起動時のデフォルト値は「1」です)



2.4.4 環境設定例

(株)デジタルが推奨するPLC側の通信設定と、それに対応するGP側の通信設定を示します。

Memocon SC シリーズ (GL40S/GL60S/GL60H/GL70H) (GL120 CPU 直結)

GPの設定		通信モジュール/GL120の設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit (固定)	伝送モード	RTUモード (固定)
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティON/OFF EVEN/ODD	ON EVEN
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	RS-232C	_____	
_____		ディレーカウント ^{*1}	0
号機No.	1	号機No.	1

Memocon SC シリーズ (U84/U84J/U84S)

GPの設定		通信モジュールの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit	伝送モード	RTUモード
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	RS-232C	_____	
_____		ポートディレータイム	0
号機No.	1	アドレス	1

Memocon SC シリーズ (GL120/GL130)

GPの設定		通信モジュールの設定	
伝送速度	19200bps	伝送速度	19200bps
データ長	8bit		
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	ON/OFF	ON
制御方式	ER制御	EVEN/ODD	EVEN
通信方式	RS-422	通信ポート	RS-422
_____		スレーブアドレス	No. 1
号機No.	1	通信ビット	RTUモード (固定)

*1 GL120、通信モジュール JAMSC-1F60 にはこの設定はありません。

PROGIC-8

GPの設定		PORT1、PORT2の設定	
伝送速度 (PORT1接続の場合)	9600bps (固定)	_____	
伝送速度 (PORT2接続の場合)	19200bps	伝送速度 (PORT2接続の場合)	19200bps
データ長	8bit	_____	
ストップビット	1bit	_____	
パリティビット	偶数	_____	
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	RS-232C	_____	
号機No.	1	_____	

Control-Pack シリーズ

GPの設定		マシンコントローラ4CN、6CNの設定	
伝送速度	9600bps	伝送速度	9600bps
データ長	8bit	データビット	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	RS-232C	_____	
号機No.	1	局番	1

Memocon Micro

GPの設定		comm1ポートの設定	
伝送速度	9600bps	伝送速度	9600bps
データ長	8bit	データビット	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1bit
パリティビット	偶数	パリティビット	偶数
制御方式	ER制御	_____	
通信方式	RS-232C	_____	
号機No.	1	局番	1

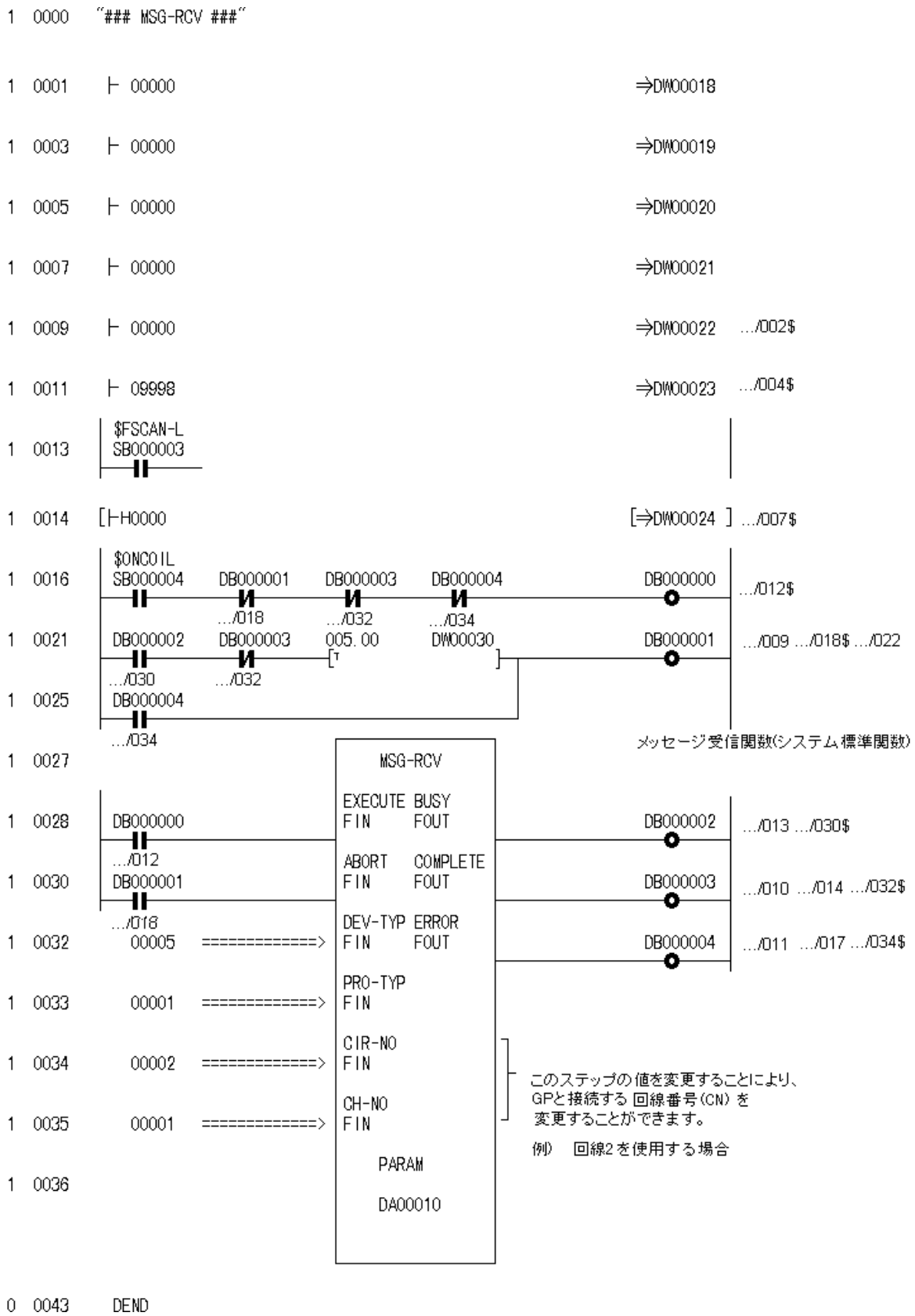
Control Pack シリーズの CP-9200SH 対応

	GPの設定	PLC設定
伝送速度(bps)	9600	9600
データ長	8	8
ストップビット	1	1
パリティビット	偶数	偶数
制御方式	ER制御	ER制御
通信方式:RS-232C	RS-232C	CN1 or CN2
:RS-422	4線式	CN3
システムエリア先頭アドレス	GMW0000	_____
号機No (ステ-ションNo.)	1 ~ 32	1 ~ 32



- バージョンが「*****_21700_*****」以下の 217IF ユニットと GP77R シリーズを接続する場合は、GP画面作成ソフト GP-PRO/PB for Windows Ver.3.0 以上の [GP システムの設定] の「通信設定」を選択し、「拡張設定」の「送信ウェイト」を「20ms」にしてください。
- GP と安川電機(株)製リンク I/F CP-217IF を接続するには、ラダープログラムが必要です。
- このサンプルプログラムは 1 つの CN と GP との通信を可能にするものです。CN1 ~ CN3 の複数同時通信をする場合は、各 CN ごとにラダープログラムが必要です。ご注意ください。
- PLC 側の通信設定は、このプログラムでは設定されないため、ラダーソフトより設定作業を行います。

Control Pack シリーズの CP-9200SH 対応サンプルプログラム



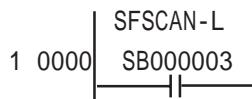
MP900 シリーズ

GPの設定		PLC側の設定	
伝送速度	19200bps	ボーレート	19.2Kbps
データ長	8bit	データ長	8bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1stop
パリティビット	偶数	パリティビット	even
制御方式	ER制御	送信モード	RTU
通信方式 (RS-232C使用時)	RS-232C	シリアルI/F (RS-232C使用時)	RS-232C
通信方式 (RS-422使用時)	4線式	シリアルI/F (RS-422使用時)	RS-485
号機No.	1	デバイスアドレス	01
		マスタ/スレーブ	スレーブ
		伝送プロトコル	メモバス



- ・ GPと安川電機(株)製伝送モジュールCP-2171/FのCN1、CN2、CN3を接続する場合、およびCPU上のメモバスポート (Port1, Port2)を接続する場合はラダープログラムが必要です。
- ・ このサンプルプログラムは1つの通信ポートとGPとの通信を可能にするものです。複数の通信ポートで同時通信をする場合は、各通信ポートごとにラダープログラムが必要です。
- ・ PLC側の通信設定はラダープログラムのみでは設定されないの
で、ラダーソフトの設定も必要です。

MP900 シリーズのサンプルプログラム



1 0001 IFON

2 0002 | 00000

2 0004 | 00000

2 0006 | 00000

2 0008 | 00000

2 0010 | 00000

2 0012 | 32787

2 0014 | 00000

2 0016

2 0017

1 0018 IEND

電源投入時に一回
だけ実行します。
(メッセージ受信
関数のパラメータ
を初期化する。)

- DW00008 コイルオフセット設定
- DW00009 入力リレーオフセット設定
- DW00010 入力レジスタオフセット設定
- DW00011 保持レジスタオフセット設定
- DW00012 書き込み範囲 L0
- DW00013 書き込み範囲 HI
- DW00014 システム用レジスタクリア
- DW00024 正常バスカウトクリア
.../036@
- DW00025 異常カウンタクリア
.../039@

1 0019

1 0020 | SB000004

1 0022 | SB000004

1 0024 | 00005

1 0025 | 00001

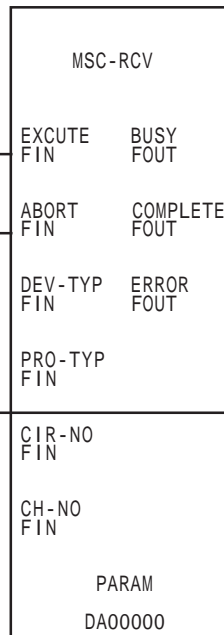
1 0026 | 00001

1 0027 | 00001

1 0028

1 0035 | 正常完
DB000211

.../032



メッセージ受信関数 (システム標準関数)

実行中 DB000210

正常完 DB000211 .../035

異常完 DB000212 .../037

CPU上のPort1、Port2は8をセットしてください。
CP-217IFのCN1、CN2、CN3を使用する場合は5をセットしてください。

GPと接続するPort、あるいはCNの番号を入力してください。


```

1 0036[ INC      正常カウンタ
                  DW00024]
                  .../016
1 0037 | 異常完
        | DB000212
        | .../034
1 0038 | IFON
2 0039 INC      異常カウンタ
                  DW00025
                  .../017
2 0040 DW00000      DW00026      処理結果保存
                                      .../053S
2 0042 DW00001      DW00027      ステータス保存
2 0044 DW00002      DW00028      コマンド受信先ST#保持
2 0046 DW00004      DW00029      FC保存
2 0048 DW00005      DW00030      データアドレス保持
2 0050 DW00006      DW00031      データサイズ保持
2 0052 DW00007      DW00032      相手CP#保存
1 0054 IEND
0 0055 DEND
    
```

MP2300 シリーズ

GPの設定		PLCの設定	
伝送速度	19200bps	ボーレート	19200bps
データ長	8bit	データ長	8Bit
ストップビット	1bit	ストップビット	1Stop
パリティビット	偶数	パリティ	Even
制御方式	ER制御	_____	_____
通信方式	RS-232C	シリアルI/F	RS-232
	RS-422 (4線式)		RS-422/485
号機 No.	1~32	デバイスアドレス	1~32
_____	_____	伝送プロトコル	メモバス
_____	_____	マスタ/スレーブ	スレーブ
_____	_____	伝送モード	RTU
_____	_____	送信ディレイ	指定なし
_____	_____	自動受信	指定あり